



7月の子育て支援センターだより



地域の方(大崎)が七夕飾りを作ってくださいます。ありがとうございます。



梅雨に入ったと思ったら猛暑が続く。梅雨はどこ行った?と思うくらいです。庭の熱中症警戒アラート計も、ブザーが鳴る日がたいていですが、洗濯あそびで水の気持ち良さを知った子ども達。例年より暑さが早く来ているので、水あそびを早めることにしました! 7月2日(木)に水開きをします。布パンツ等準備をお願いします。また、火田の夏野菜やイチゴの収穫も真盛りです。「お昼におうちで食べようね」と、大切に持って帰ってきています。ナス・トマト・ズッキーニ。今日は何が穫れるかな? センターに遊びに来た時には、火田の成長も見えてね。



チェリーセージ



花言葉は「家庭の幸福」

ピンクや紫色もあるようですが、センターの庭にあるセージは赤と白のリートカラーのユニークな開きの花をつけています。まるで、パパとママが寄り添っているようです。それとも、七夕のおりひめとひこぼしかけな?

7月の草花

わくわくの日

- 6月のわくわくの日では、親子で新聞紙遊びを楽しみました。
- 布団や帽子に扮装して遊んだ。
- 指先を使い、上手にビリビリやぶいたり、集中して取り組む顔は真剣です。
- 指先を使う遊びは、手先の器用さを養ったり、新聞紙の感触や音を楽しむことで、五感も刺激されます。
- 雨の日や、暑い日など、なかなか外に出られない時に、お家で試してみてもいいですね。

ちぎった新聞紙を袋にあつめてボール遊びも楽しいですよ!



茨城県立図書館へ行ってきました



あかちゃんの日

7月は七夕
皆さんは短冊にどんな願い事を書いたかな?

さて あかちゃんの日では絵本に親しむとして絵本の読み聞かせをおこなっています。絵本を楽しみながら おかあさんのぬくもりを感じたり、優しいまなざしに包まれたり... あかちゃんの心の栄養だけでなく愛着関係を深めてくれるものです。そんなひとときをゆつたりと過ごせてもらえたらと考えています。



少し大きな赤ちゃん

水遊びの季節になりました。水に触れることで五感が刺激されて、五感を豊かにしてくれます。暑さの厳しい時はさけて、無理をせずに、工夫しながら水に触れてみてくださいね。

少し大きな赤ちゃんの日は 多目的ホールで はいはい遊び、サーキット遊び、わらべ歌等で楽しんでい



みんなで散歩

6月は駅前児童公園で、水に触れり、入って遊ぶ子どもいて楽しんできました。



7月は「みんなで散歩」は休みです。

～のびのびの日～

6月ののびのびの日は、支援センターの畑にさつまいもの苗を植えました。

最初は、ちょっと不安そうな子どもたちでしたが、パパやママの姿を見て、やってみたい!!という気持ちが出てきたようです。小さな手で苗を大切に受けとり、優しく寝かせて土をかけることができました。秋の収穫が楽しみです。



支援センターの庭にあるミニ田んぼや畑の夏野菜も元気に成長しています。親子で自然に触れ、観察してみませんか? 食への興味や関心が高まりますよ。😊😊

イヤイヤ期とは自分を確認する時期

「なんでもイヤイヤで、もう大変なんです～」でもね、自我の育ちに重要な節目にあたる時期でもあるのです。

子どもの自我は1歳半頃に芽生えとされています。1歳後半になると、物や場所をめぐるトラブルが頻繁におこるようになります。これは、自分の領域を確かめようとしているからです。

そして、自分が主体であること。お母さん自分の行動は自分が選び、自分で決めて自分が起こすものであることに気がきます。

その結果「イヤ!」「じぶん!」という大人への反抗や自己主張として表れます。

またタコねで困って、もう疲れた...という時は、センターに来てみてください。「この子は何を伝えたいのかな。」と一着考えていきましょう。

子どもの自我の育ちと大人の役割

子どもが自分で判断する力も育てる

イヤという言葉で意思表示をする以外に、特定の大好きな物やみつめる子も、この時期にいます。カバンだったり、ぬいぐるみだったり、自分が好きな物へのこだわりを通して「自分」を確認しているのです。

そんな時の大人の対応は?

この時期の子どもへの対応で大切なのは「あなたの思いはわかったよ」と芽生えてきた子どもの自我をいったんは受けとめることです。

そして、子どもが安全に行動するためのリミット・セッティング(適切な制限)を伝えます。子どもの要求も丸呑みして、しにまにさせるのは違います。

子どもが自分で考えて、行動を選びとるまで、子どもを信じて待つ「間」も必要です。

